

OpenCVでグレースケール変換

1. プログラム内の`/** */`を消して、以下を記載

```
cv::Mat dst_img; //グレースケール画像の変数宣言. 宣言のみでよい  
//グレースケール化 (カラー => グレー)  
cv::cvtColor(src_img, dst_img, cv::COLOR_BGR2GRAY);
```

2. waitKeyの手前でimshowを一文追加

```
cv::imshow(WINDOW_NAME_OUTPUT, dst_img); //出力画像の表示
```

3. Run → 同じように濃淡画像が出力される

グレースケール画像の生成 2

- 以下の関数で変数の宣言

```
//出力画像のメモリ確保（グレースケール）
```

```
cv::Mat dst_img;
```

- **dst_img**は画像を示す**変数**
- 中身はまだ何もない (箱だけ)

OpenCVの関数で変換

```
//グレースケール化 (カラー => グレー)
```

```
cv::cvtColor(src_img, dst_img, cv::COLOR_BGR2GRAY);
```

```
cv::imshow(WINDOW_NAME_OUTPUT, dst_img); //画像の表示
```

dst_imgは箱だけだったが、
関数の中で領域確保が行われる

ノート

色変換関数による変換

```
//グレースケール化 (カラー => グレー)
```

```
cv::cvtColor(src_img, dst_img, cv::COLOR_BGR2GRAY);
```

- 引数: 入力画像, 出力画像, コード
- コード (変換命令)
 - `cv::COLOR_BGR2GRAY`: BGR画像からグレースケール
(教科書p.28 : HSV変換の例 (後日))